

当院で造血器疾患に対して治療を受けた患者様へのお知らせ

研究責任者： 東京大学医科学研究所 造血病態制御学分野/
附属病院 血液腫瘍内科 准教授・小沼 貴晶

東京大学医科学研究所 造血病態制御学分野・血液腫瘍内科では、患者様の試料・情報を使わせていただき、以下の研究を行います。下記2. に該当する患者様で、試料・情報が本研究に用いられることを希望されない方は、下記7. の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありませんのでご安心ください。なお、申し出の時点において、すでに試料・情報を用いた研究結果がデータ解析を終えている場合には、その研究結果については破棄できないことをご了承ください。

1. 研究課題名： 新規造血器疾患治療法の開発を指向した臨床試料を用いた基礎研究

2. 研究の対象となる方と用いる試料・情報：

東京大学医科学研究所附属病院血液腫瘍内科で造血器疾患の診療を行なった患者様で、『臨床検体を用いた血液細胞の表面マーカー解析』（承認番号：27-19-0713）、『臨床検体を用いた血液細胞の表面マーカー解析 2』（承認番号：2019-86-0319）または『余剰検体の保存および使用に関する同意書』もしくは、『追加採取検体の採取・保存・および使用に関する同意書』にご同意いただいた方の以下の試料・情報を利用させていただきます。

試料：血液、骨髓液

情報：年齢、性別、合併症、疾患の種類や病期、血液検査データ 等

3. 研究の目的と方法：

白血病などの造血器疾患に対する治療成績は改善してきているものの、現状においても治療に難渋する症例も多く、新規の治療法の開発が望まれます。我々の研究室では、白血病などの造血器疾患の新規治療法の開発を目的に研究しています。造血器疾患の治療法の開発においては、患者様の細胞を用いる必要があり、具体的には試験管やマウスモデルにおける安全性や有効性の評価も重要とされています。研究内容は、共同研究機関である京都大学医生物学研究所が「幹細胞シグナル分野(服部 鮎奈 准教授)のグループと共に、造血器疾患の治療を受けられた患者様の上記の凍結保存されている臨床検体と診療情報を用いて、試験管内の細胞増殖やコロニー形成能などの評価や、免疫不全マウスモデルへの異種移植での造血器疾患の体内動態などを評価する予定です。

4. 個人情報の取扱い：

試料・情報には患者様を直ちに特定できる情報はつけず、研究用 ID をつけて利用させていただきます。試料・情報の一部は、共同研究機関である京都大学医生物学研究所に提供されることがありますが、その場合も研究用 ID で提供します。研究用 ID と患者様を特定できる対応表は、当院の個人情報保護管理者が厳重に管理します。

5. 研究期間等:

研究期間: 2026年3月12日 ~ 2030年3月31日

試料・情報の利用・提供開始予定日: 2026年3月27日

6. 研究実施体制:

研究代表者 京都大学医生物学研究所 がん・幹細胞シグナル分野 准教授 服部 鮎奈

当院の研究責任者 東京大学医科学研究所 造血病態制御学分野/附属病院 血液腫瘍内科

准教授 小沼貴晶

7. ご質問・ご相談、ご辞退のお申し出に関する連絡先

本研究に関するご質問・ご相談、または、試料・情報が本研究に用いられることを希望されない場合には下記までご連絡下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で研究計画書及び関連資料を閲覧出来ますのでお申し出下さい。

<連絡先>

当院研究責任者:小沼貴晶 東京大学医科学研究所 造血病態制御学分野/附属病院 血液腫瘍内科

電話番号:03-5449-5429

メールアドレス:tkonuma@ims.u-tokyo.ac.jp

【東京大学医科学研究所】

研究所長名:岩間 厚志

住所:東京都港区白金台 4-6-1

ホームページ:<https://www.ims.u-tokyo.ac.jp/>

研究倫理支援室:<https://ore-imsut.jp/>